

履歴書

2024年 06月 19日現在



ふりがな デン ケイキチ	
氏名 田 慶吉	
1997 年 09月 03日生 (満 26 歳)	男・女
ふりがな キョウトシンモギョウクシチジョウドオリアイノマチヒガシイルザイモクチョウ474パンチ	
メールアドレス dkeikichi@gmail.com	
現住所 〒600-8146 京都市下京区七条通間之町東入材木町474番地 レオパレスポルスター2 305	携帯電話 (+81) 8096615271
E-mail	
連絡先電話	
ふりがな	
連絡先 〒 (現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入)	

年	月	学歴・職歴（各別にまとめて書く）
		学歴
2015	9	湖南省広益実験中学 高校卒業
2016	4	新宿 KCP 地球市民日本語学校 進学コース 入学
2018	3	新宿 KCP 地球市民日本語学校 進学コース 卒業
2018	4	東京都市大学 知識工学部 情報通信工学科 入学
2022	3	東京都市大学 知識工学部 情報通信工学科 卒業
		職歴
2022	6	AGC 株式会社 ディスプレイ事業 DX 推進室 入社
2023	9	AGC 株式会社 ディスプレイ事業 DX 推進室 退社
2023	10	日本通運株式会社 京都支店 京滋営業開発部(情報システム) 入社
2024	6	日本通運株式会社 京都支店 京滋営業開発部(情報システム) 在籍
		現在に至る

年	月	学歴・職歴(各別にまとめて書く)
年	月	免許・資格
2018	12	日本語能力試験N1
2020	11	TOEIC IP 665点

趣味	ニュースを見ること、散歩すること	扶養家族数(配偶者を除く)	0人
配偶者の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	配偶者の扶養義務	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

本人希望欄(特に職種・勤務時間・勤務地・その他についての希望などがあれば記入)
<p>貴社の規定に従います。</p>

# 職務経歴書

2024 年 06 月 19 日

田 慶 吉

【職歴要約】日本通運株式会社入社後、主にRPAおよびバッチスクリプトを使用した業務自動化、Pythonを用いたデータ処理・分析、EDIデータマッピングなどを担当する。さらに、社内ネットワーク障害への対応、プリンタードライバーの動作確認を行い、IT業務全般をサポートする。

## 【職務経歴】

日本通運株式会社

事業内容: 日本における業界最大手で、総合物流でトップ。自動車輸送、鉄道輸送、国外海上輸送、航空輸送、国内海上輸送、国内航空輸送、倉庫、移転・引越、美術品輸送な幅広い事業展開している。

設立: 1937年 資本金: 701億75百万円 売上高: 2兆2390億1700万円(2023年12月期連結) 従業員数: 34,299名

期間	業務内容
2023 年 10 月	<div>■ EDI物流データマッピング</div> <p>小売業お客様システムと当社システムを連携すべく、効率的なデータフローを設計し、EDI物流データマッピングツールを活用する。これにより、異なる他社システムともスムーズに連携することが可能となる。具体的には、SAPから日々流れてくる人間が読めないEDI物流データをデータマッピングツールを通じて人間が読めるCSVデータに変換し、またその逆のパターンにも対応。これら一連の業務の設計とメンテナンスを担当する。</p> <div>■ バッチスクリプトの開発</div> <p>社内で日々直面するファイル処理などのヒューマンエラーを低減すべく、環境に依存しないバッチスクリプトの開発からメンテナンスまでを担当する。具体的には、フル自動でサーバから日々受信したEDIデータをローカルまでダウンロードし、変換を行い、パスごとにデータを保管するよう設計する。</p>

2024 年 1 月 ～	<p>■RPA開発</p> <p>UiPathを用いた業務自動化を担当。日々、社内Webサイトからデータをダウンロードし、コンバータを通じて必要な形式に変換し、メールやサーバ経由でお客様からの問い合わせに対して報告する業務を自動化。手間のかかる作業を軽減するためにRPAの開発に着手し、従業員の負担軽減や担当者の離任リスクを低減させることができた。</p>
2024 年 5 月 ～	<p>■Pythonデータ処理分析</p> <p>PandasやNumpyを導入し、数万件規模のデータの中身を精査する業務を担当する。具体的には、データのクリーニングや前処理を行い、必要に応じてデータの可視化を実施することで、データの傾向やパターンを明確にし、業務の効率化を図る。これにより、データに基づく意思決定の迅速化や精度向上が実現し、業務プロセスの最適化に貢献する。</p>

# 職務経歴書

2023 年 05 月 23 日

田 慶 吉

【職歴要約】AGC株式会社へ入社後、主にAGC中国各拠点のIT関連全般を担当。具体的な業務内容としては、AGC日本本社と中国各拠点とのコミュニケーション窓口において、サーバ点検・保守、プリンタトラブル対応、端末の初期設定・キッティング等を担った。このほか、技術文書の翻訳、手順書の作成・整理、IT基礎教育講師等も担当。また、各拠点のDXを推進するため、RPA(Robotic Process Automation)の開発・導入を担当し、Pythonを利用した業務の自動化を行った。

## 【職務経歴】

AGC株式会社(旧・旭硝子株式会社)

事業内容:AGC株式会社は日本を代表する世界最大級のガラスメーカーで、「ガラス」、「電子」、「化学品」、「セラミックス」、「ライフサイエンス」事業を展開する様々な素材を手掛ける会社である。

設立:1950年資本金:90,873百万円売上高:1兆6,974円(2021年度)従業員数:7,223名

期間	業務内容
2022 年 07 月	<div><div>■ 電子決裁システムプロジェクトのプロジェクトマネジメント</div><p>従来、紙の書類に印鑑を押すことで決裁としていた作業を電子化すべく、電子決裁システムを導入することにした。グループ会社合計5社を統括し、グループ会社各拠点各部署関係者とコミュニケーションをとりながら、進捗状況にこまめに共有することで、最終的に拠点を跨ぐ電子決裁システムを導入した。導入の結果、幹部らが時間・場所によらずに社内決裁ができるようになり、地理的に離れた拠点間でもより効率的に業務を遂行可能となった。</p></div> <div><div>■ 社内RPAの開発・導入</div><p>社内で繰り返し行われる膨大な事務処理作業を削減し、従業員をルーティンワークから解放する目的で、入社してすぐRPAの開発に携わった。結果として、一部業務の自動化を実現し、業務の効率化につなげた。また、各拠点でのRPAの普及に向けた働きかけを行い、ニーズ調査の上で拠点の業務効率化を図った。</p></div>

2022 年 10 月 ～ 2023 年 01 月	<b>■ 全社横断でのDX推進</b>  グループ会社標準技術仕様書を翻訳し、付け加えて現地に対応した手順書まで仕上げた。グループ会社新規端末のキッティングや初期設定、サーバ保守、各種ハードウェア&ソフトウェアトラブル対応等IT窓口として一般事務から業務サポートまでグループ会社横断でDXを推進する。
2023 年 02 月 ～ 2023 年 05 月	<b>■ ヘルプデスク</b>  中国現地でAGCグループ会社5社、合計で2000人規模のOffice365ヘルプデスク対応しており、各種PCトラブル対応中  <b>■ ネットワークトラブルシューティング</b>  中国大陸以外のグループ会社と協力し、日本本社、韓国、台湾、中国、香港間の国際通信ネットワーク改善にも参画し、大規模なネットワーク障害が発生時に、速やかに問題を特定し、再発防止や回復するまで通信データを用いた分析を行っている。

### 【活かせる経験・知識・技術等】

種類		使用期間	レベル
OS	Windows	10年0カ月	環境設計・構築が可能
	Linux	3年3カ月	環境設計・構築が可能
	MacOS	7年3カ月	環境設計・構築が可能
言語	Python	3年3カ月	基本的な環境構築・改修が可能
	Java	2年3カ月	基本的な環境構築が可能
	Rust	1年1カ月	基本的な環境構築が可能
	JavaScript	2年3カ月	基本的な環境構築が可能

### 【PCスキル】

Excel : 表／グラフの挿入・活用、関数類の理解・活用

Word : 図表／グラフの挿入、校正機能の活用

PowerPoint: プレゼンテーション資料作成、アニメーションの活用

※PCに関する基礎知識はすべて習得しております。

### 【今までチームで直面した問題及びその解決方法】

社内で電子決裁システムの導入を進める中で、周囲からさまざまな疑問の声が上がった。その中でも特に重要な要素として、費用対効果が見合う説明資料の提供が求められた。私はDX推進の一環として、周囲の関係者が納得できるようなアプローチを模索した。具体的には、各拠点や各部署を訪れ、出張を通じて直接説明を行った。スライド資料は何度も修正し、合計で30回のバージョンを作成した。これによって、関係者との対話を重ねながら、彼らの懸念や要望を取り入れることができた。私は主体的に行動し、コミュニケーション力を活かして信頼関係を築くことに重点を置いた。関係者との密なコンタクトを通じて、彼らの意見やニーズに真摯に向き合い、電子決裁システムの導入に対して大きな貢献を果たした。この経験から、私は柔軟な対応力とチームリーダーシップを持ち合わせている。貴社のような環境では、迅速な変化に対応し、チーム全体の目標達成に向けて努力し続けることができる。私は常に前向きな姿勢を持ち、新たなチャレンジに取り組むことで成長を遂げる。

## 【自己PR】

### ＜学び続ける能力＞

私はさまざまな国の言葉に興味を持っている。大学では、英語のほかに、韓国語、フランス語、ドイツ語を選び、いずれもSの成績を取得した。その後、コンピュータ言語に興味を持ち、コンピュータネットワークの研究室に配属され、Linux、Nginx、Docker、Kubernetes、AWS/GCP、Python等について勉強していた。勉強すること自体に熱心で、生涯学び続ける力を備えている。

### ＜プロジェクトマネジメント能力＞

電子決裁システムプロジェクトの計画立案から、予算管理、業者選定、設計構築、運用体制、利用規定を経て、最終的に各拠点の意見を統合し、システム導入に成功した。上記の成功事例からプロジェクトマネジメント能力を大きく伸ばした。

### ＜チャレンジ精神能力＞

課題解決に強い意欲をもって、チャレンジに屈しない精神で、何度でも立ち上がる。

### ＜学生時代の勉強＞

大学3年次にはコンピュータネットワーク研究室に配属され、Linux (Ubuntu、CentOS)、Nginx/Apache、Docker/LXC、Kubernetes、AWS/GCP、Prometheus/Grafana、Pythonなどについて研究を行った。特にサーバを中心とした負荷テスト研究に取り込んだ。具体的には、同じスペックのサーバを複数台借りて、Nginx + Docker、Nginx + LXC、Apache + Docker、Apache + LXCといった組み合わせでの負荷テストを実施し、各環境の性能と安定性を評価した。さらに、Prometheus/Grafanaを活用してデータを収集し、外部からの攻撃を模擬することで、システムの耐久性を検証した。また、Kubernetesを使用して単体サーバをクラスタリングし、サーバの冗長化と可用性の向上を実現した。この際には、単体サーバと冗長化したサーバの比較分析も行った。これらの研究経験を通じて、貴社におけるシステム開発やインフラストラクチャの最適化に関わるプロジェクトに貢献できる自信を持っている。